

保存版

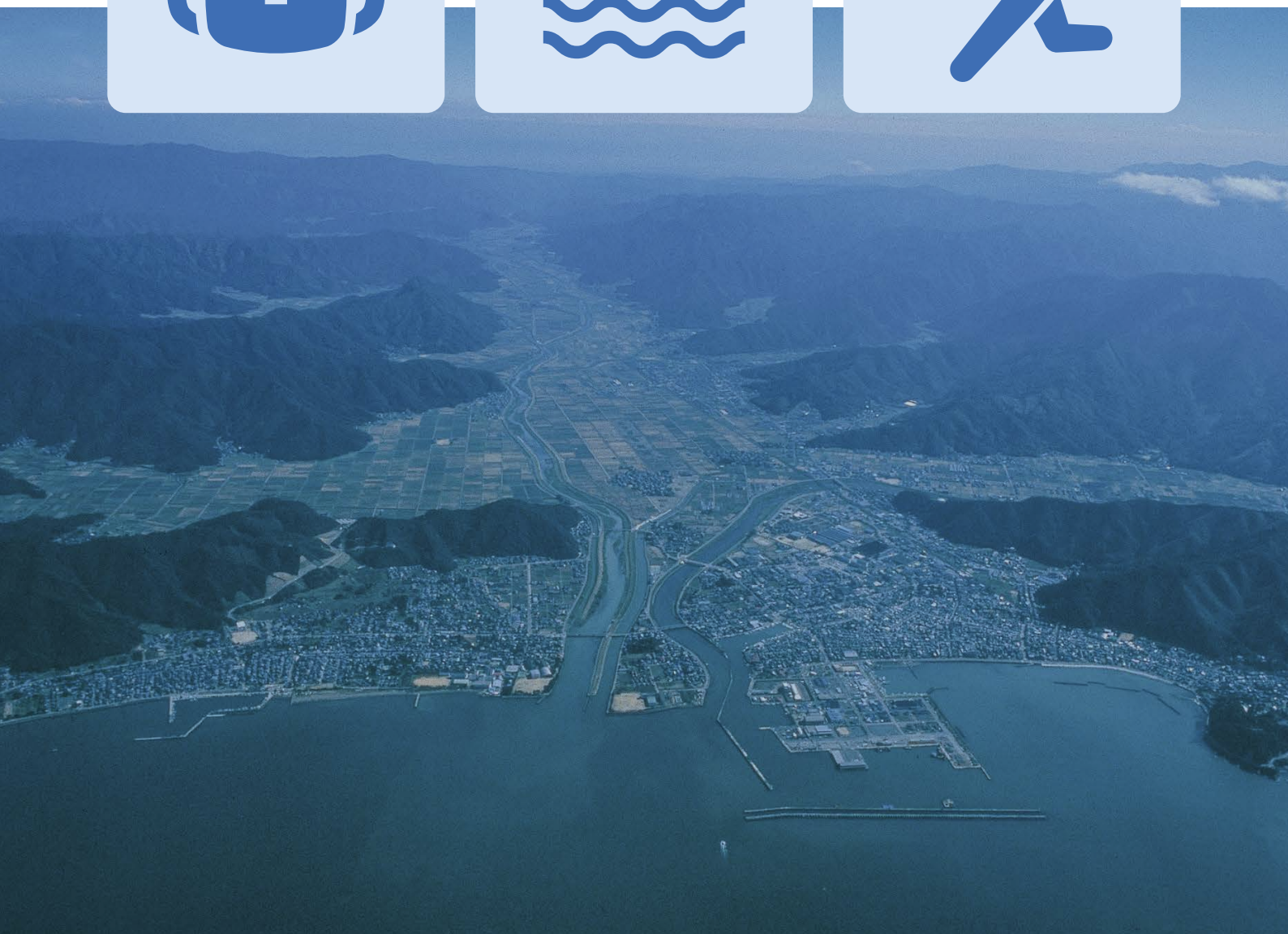
わかりやすい場所に
保管してください



洪水ハザードマップ

洪水避難地図

いざという時に備えて安心



風水害のリスク

過去の災害

小浜市では以下のような災害が過去に発生しています。この小浜市洪水ハザードマップは避難に役立つ情報をつとめ、住民の皆様の避難行動に役立つように作成したものです。



湯岡橋 南川氾濫(昭和28年台風13号)



忠野区 土砂災害(平成25年台風18号)



野木川決壊(平成25年台風18号)

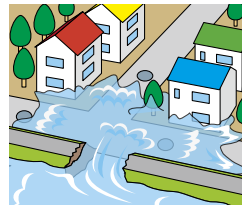
大雨によって発生する災害・被害



下水道や水路などがあふれて起こる

内水氾濫

大雨により、河川の水位が上昇することで、下水道や水路からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水氾濫」といいます。



河川が氾濫する

外水氾濫

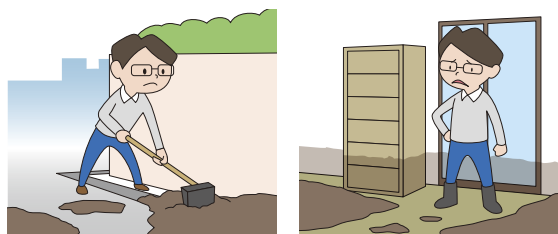
大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防から水があふれたり、堤防が決壊することにより水が流れ出す現象を「外水氾濫」といいます。

道路の冠水



エンジンが停止したり、ドアが開かないなど、車内から出られないことがあります。

床下・床上浸水



流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、片付けが大変です。

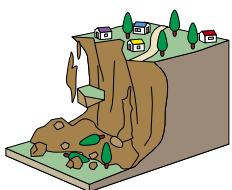
家屋の倒壊



河川沿いでは、家屋が倒壊し、命の危険性もあります。

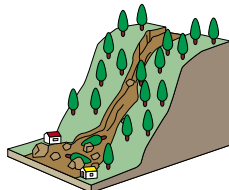
土砂災害

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)



雨でやわらかくなった斜面が急激に崩れ落ちます。最も多い土砂災害です。

土石流



山腹や渓流の土砂が一気に下流へ押し流されます。

地すべり



斜面の一部が地下水の影響などでゆっくり下方に移動する現象です。

小浜市では、津波、内水氾濫、ため池氾濫のハザードマップも作成しています。あわせて確認して備えましょう。

<https://www1.city.obama.fukui.jp/kurashi/bosai-anzen/bosaitaisaku/1963.html>

適切な避難行動

避難の種類と行動

避難行動には、**1** 避難所や、近隣の安全な場所（近隣のより安全な場所・建物など）への「立退き避難」、**2** 「立退き避難」をすとかえって危険な場合は、その時点に居る建物内でより安全な部屋などへ移動する「屋内安全確保」、**3** 2階以上の高いところへ避難する「垂直避難」があります。

1 立退き避難（水平避難）

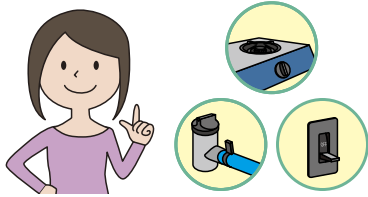
→ 避難所

→ 避難場所

2 屋内安全確保

3 垂直避難

避難時の心得



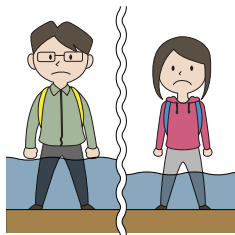
火の元（コンロ、暖房器具、タバコ、線香など）と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。



動きやすい服装で、必要最小限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。



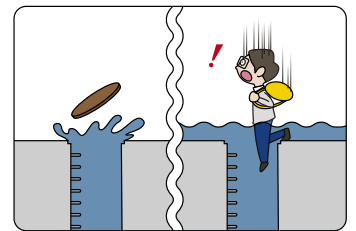
深さ30cmを超えると自動車は走行困難になります。



浸水すると人はまともに歩けなくなります。



裸足や長靴は危険です。紐付きなどの脱げにくい運動靴で避難しましょう。



マンホールや排水溝に気づかず吸い込まれる危険があります。避難時には注意してください。

地域での助け合い



肢体不自由な人には…

- 階段では2人以上が必要です。のぼりは前向き、くだりは後ろ向きにして移動しましょう。



耳が不自由な人には…

- くちをハッキリと開け、相手に分かりやすいように話しましょう。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝えましょう。



目が不自由な人には…

- 災害時には、声を掛け情報を伝えましょう。
- 誘導する場合は、支援者のひじ辺りを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩きましょう。



外国人には…

- 身振りや手振りで話し掛け、孤立しないようにしましょう。

大雨時にとるべき行動

情報の種類と行動の目安

小浜市では住民の皆様の避難が必要と判断した場合、その緊急度に合わせた避難情報を発令します。市から発表される情報に注意してください。

災害時に支援の必要な方が近くにおられる場合は、お互いに助け合って避難しましょう。

避難情報など		防災気象情報
警戒レベル	避難行動など	避難情報など
警戒レベル 5	既に 災害が発生 している状況です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。	緊急安全確保 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 小浜市が発令
警戒レベル 4 危険な場所から 全員避難	速やかに避難先へ避難 しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合などに発令 小浜市が発令
警戒レベル 3 危険な場所から 高齢者等は避難	避難に時間を要する人 （ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など）とその 支援者 は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 小浜市が発令
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップなどにより、自らの 避難行動を確認 しましょう。	洪水注意報 大雨注意報など 気象庁が発表
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 気象庁が発表

警戒レベル相当情報 (例)
(国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

- 警戒レベル5 相当情報**
氾濫発生情報 大雨特別警報 など
- 警戒レベル4 相当情報**
氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 など
- 警戒レベル3 相当情報**
氾濫警戒情報 洪水警報 など

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

警戒レベル5 では既に**災害が発生**しています。また、必ず発令されるものではありません。

警戒レベル3 や **警戒レベル4** で、

地域の皆さんで声を掛けあって、安全・確実に**全員避難**しましょう。

避難に役立つ情報

情報の入手方法

災害時に必要な情報としては、気象台が発表する警報などをはじめとして気象情報、市が発令する避難指示などの避難情報、各地の被害状況、電気、水道などライフラインの復旧の状況などがあります。災害時に必要な情報は、市の防災行政無線、テレビ、ラジオ、インターネット(行政の公式ホームページ)などから入手できます。

なお、災害時には人づてに誤った情報が流れることがあるため、出所が分からない情報に惑わされないようにしましょう。

テレビ・ラジオ



発災時、情報収集手段として利用頻度の高いテレビ、ラジオですが、テレビについては、気象関連のニュース番組の他、各局のデータ放送(リモコンのdボタンを押す)やL字放送などにより災害情報を確認することができます。また、ラジオについては停電時でも情報収集が可能なメリットがあります。

緊急速報メール



緊急性の高い情報を携帯電話会社(NTTドコモ、au(KDDI)、ソフトバンク、楽天モバイル)のサービスを利用して地域内にある携帯電話端末に一斉配信するものです。緊急地震速報やJアラートのミサイル情報なども緊急速報メールになります。

防災行政無線

屋外拡声器や各家庭の戸別受信機から放送が受信できます。正しく受信するには、アンテナを全部伸ばす必要があります。また、停電時においても受信ができるよう乾電池を入れておきましょう。

インターネット



• 福井県河川・砂防総合情報

県内の土砂災害の発生危険度、河川の水位情報を掲載しています。

また、各地域の土砂災害リスクを示した土砂災害警戒区域などの確認ができます。

<https://sabo.pref.fukui.lg.jp/>



• 小浜市ホームページ

災害時には、避難情報、避難所開設状況などの情報を随時掲載します。防災行政無線やチャンネル¹の放送と同じ内容が確認できます。

<https://www1.city.obama.fukui.jp/>



• 福井地方気象台ホームページ

注意報、警報、台風情報、解析雨量などの防災情報が確認できます。

<http://www.jma-net.go.jp/fukui/>



Yahoo!防災速報



緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などをお知らせするアプリです。小浜市内の避難情報も確認することができます。詳しい機能は右記URLで見ることができます。

<https://emg.yahoo.co.jp/>

アプリのダウンロードはこちら→



登録制のメール配信サービス(無料)



登録方法は、次のアドレスなどから配信希望内容、地域を選択します。

• eマガふくい(福井県メールマガジン)

県気象、地震、津波、特別警報、災害発生時のお知らせなどの情報を配信します。

<http://www2.pref.fukui.jp/melma/k/>



• i-ameメール(福井県河川・砂防総合情報メール)

河川水位や雨量、土砂災害の危険情報を配信します。

<http://i-ame.ame.pref.fukui.lg.jp/>



• 市防災メール(小浜市)

避難情報や避難所開設情報などを配信します。

<https://mail.cous.jp/bousaiobama/>

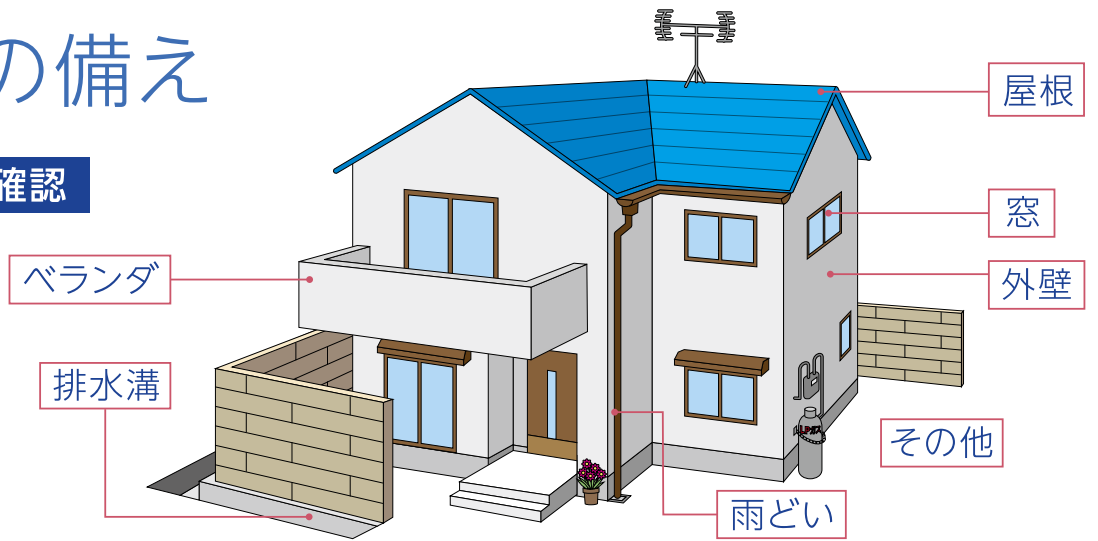


次のメールアドレスへ空メールを送信すると登録手続きができます。

bousaiobama@entry.mail-dpt.jp

災害への備え

家の周りの安全確認



屋根

- アンテナは不安定ではないか
- 屋根がめくれていないか
- 屋根のひび・割れ・はがれがないか

ベランダ

- 植木鉢や物干し竿など、落下や飛散の危険があるものはないか

排水溝

- 排水溝にごみや土砂が詰まっているか

窓

- 窓枠のがたつきはないか
- 雨戸のがたつきはないか

雨どい

- 雨どいに落ち葉などが詰まっているか
- 継ぎ目ははずれや塗装のはがれ・腐りはないか

外壁

- 壁に亀裂はないか

その他

- 商店などでは看板のぐらつきがないか
- ゴミ箱や植木鉢などは室内に入れるか、飛ばないように固定しているか
- 庭木には添え木をしているか
- プロパンガスのボンベは鎖でしっかり固定されているか
- ブロック塀は崩れそうにないか

マイ・タイムラインをつくってみよう

マイ・タイムラインとは、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。

※3ページにある「大雨時にとるべき行動」の情報もあわせて見てみましょう。

警戒レベル	避難情報など	とるべき行動	とるべき行動 (例)
5 命を守る最善の行動 既に災害が発生している状況	緊急安全確保		・命を守る行動を取る。(近くの建物や自宅の2階など、安全な場所に緊急避難)
4 危険な場所から 全員避難	避難指示		・避難場所への移動を完了する。 ・外に出るとかえって危険な場合は、建物の2階へ避難する。
3 危険な場所から 高齢者等は 避難 他の住民は 準備	高齢者等避難		・避難情報が発令されたら、 へ避難する。 ・親戚などに避難先を連絡する。
2 避難行動の 確認	洪水注意報 大雨注意報など		・川の水位や土砂災害の情報をインターネットで確認。 ・携帯電話の充電。 ・自宅の浸水しそうな箇所に土のうを設置。 ・避難生活に必要なものを準備する。
1 災害への 心構えを 高める	早期注意情報		・天気予報に注意。 ・家の周りに風で飛ばされるものがないか確認。 ・洪水ハザードマップを確認して自宅などの浸水想定を調べる。 計画規模 _____ ~ _____ m 想定最大規模 _____ ~ _____ m

備蓄品や非常時持出品の準備

備蓄品など 食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例 (人数分を用意する)

非常食

ご飯(アルファ米など)、ビスケット、板チョコ、缶詰、レトルト食品、飲料水など



日用品

トイレトペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど

※最低限で「3日分」、大規模災害発生時には「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

※飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要です。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意するなどの備えをしておきましょう。

※備蓄した食料品の賞味期限切れなどを避けるためには、回転備蓄(ローリング・ストック)が有効です。備蓄品を古い物から普段の食事で利用し、食べた分を買い足すこの方法を行えば、比較的期限が短い食品でも非常食として活用できます。

非常時持出品

避難用品

懐中電灯は、できれば一人に一つ用意できるといいでしょう。

- ヘルメット、防災ずきんなど
- 雨具
- 軍手
- 懐中電灯
- 携帯電話の充電器、モバイルバッテリーなど
- 携帯ラジオ、予備電池

非常食など そのままで食べられるものが便利です。

- 飲料水
- 食料品
カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど

貴重品 10円玉は公衆電話用に。

- 貴重品 預金通帳、印鑑、現金(10円玉)、健康保険証、運転免許証など

衣料品 衣類は動きやすい物を選びましょう。

- 衣類、下着
- 防寒用ジャケット

生活用品

避難所生活に必要なものです。赤ちゃんやお年寄り、障がい者がある場合など考慮して揃えましょう。

例— 乳児のいる家庭では、ミルク、紙おむつ、ほ乳びんなど

- 洗面用具
- 携帯トイレ
- 普段飲んでいる薬
- 救急用品
ばんそうこう、包帯、常備薬など
- 予備の眼鏡、コンタクトレンズ用品など
- 毛布、タオル
- ウエットティッシュ

感染症対策

避難所などで過ごす場合は、隣の人とのスペースを確保し、十分に換気を行うことを心がけてください。発熱や下痢など体調の変化がみられた際には、必ず周囲もしくは体調管理を行う係に連絡しましょう。

- マスク
- 消毒液
- 体温計

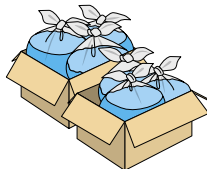
その他

- 使い捨てカイロ
- 薬手帳

家屋の浸水を軽減する方法

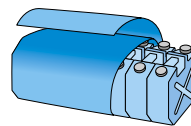
ゴミ袋による簡易水のう

ゴミ袋を二重にし半分程度水を入れて、ダンボール箱に入れ連結し、土のうと同じように使用します。



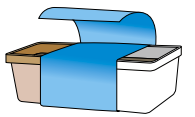
ポリタンクとレジャーシート

ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結し、土のうと同じように使用します。



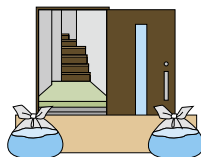
プランターとレジャーシート

土を入れたプランターを、レジャーシートで巻き込み連結し、土のうと同じように使用します。



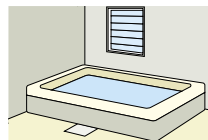
止水板

出入り口は長めの板などを使用し、浸水を防ぎます。



風呂の貯水

下水の逆流防止、生活用水としての利用などの利点があります。



トイレや洗濯機などの排水溝

水を入れたビニール袋を置いておくと、排水溝から逆流してくる泥水を防げます。



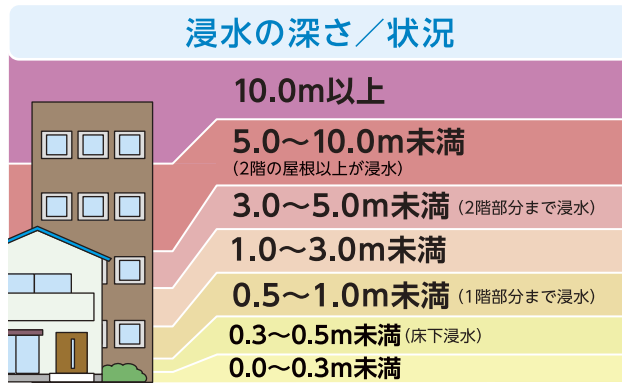
防災訓練をしよう

地域で自主防災組織や区の情報伝達訓練を実施するなど、災害時にどういった行動をとるのか、訓練を行い確認しましょう。

水害・土砂災害ハザードマップ

早期の立退き避難が必要な区域

洪水発生時の行動マニュアル



余裕をもって
安全な避難経路を確保!

必ず避難!

必ず避難!

むやみに移動しない

浸水しない
安全な場所へ
(指定緊急避難場所、
高台の道路、空地など)

水平避難



2階以上
または危険のない
近くの高い建物へ



屋内安全確保

むやみに移動は
かえって危険
建物内のより安全な
部屋などへ



※浸水深は、計算メッシュ(5mまたは10m)ごとに計算された浸水位から地盤高を差し引いた値を地盤高メッシュごとに表示しています。なお、浸水深はメッシュの平均値であり、場所によっては表示以上となる場合があります。

早期の立退き避難が必要な区域

家屋倒壊等氾濫想定区域



氾濫流

氾濫流の直撃により、木造家屋の倒壊や流出が想定される区域



河岸侵食

氾濫流により河岸の侵食を受け、建物や土地が流失してしまうと想定される区域

浸水継続時間が長い区域

※浸水継続時間とは、浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでにかかる時間を示したものです。

浸水継続時間が長い区域において、立退き避難を行わなかった場合、次のようなさまざまな問題が発生し、生活が困難となるおそれがあります。そういった状況に陥っても対処できるように、十分な備えをしておきましょう。

＜浸水継続時間が長期化した場合＞

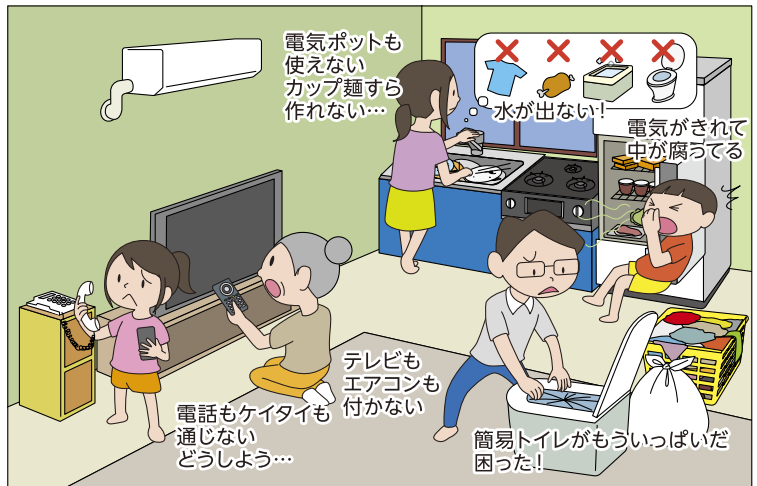
- 浸水深が深い場合には、家から外へ出られない
- 備蓄していても水や食料などがなくなる
- 衛生環境が悪化する
- 病人が出た場合に対応が難しい
- 定期的な診療を受けている人は診療を受けられない

＜孤立した場合＞

- 体調を崩した場合の対応が難しい
- 情報を受けられない場合、不安になる

＜電気、ガス、水道が止まった場合＞

- 停電などにより情報を得ることができなくなる
- 図に示すように生活環境が悪化する



小浜市洪水ハザードマップは、小浜市を流れる河川が計画規模の降雨(概ね30年から100年に1度程度の確率で起こる降雨)、想定最大規模の降雨(概ね1,000年に1度程度の確率で起こる降雨)によって増水し、堤防が決壊した場合の浸水予測結果に基づいて作成したものです。

このシミュレーションの実施にあたっては右記の表に無い支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫などを考慮していませんので、洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

シミュレーション条件

河川名(12河川)	雨量条件	
	計画規模	想定最大規模
●北川(瓜生大井根堰堤(若狭町新道地先他)から下流) ●遠敷川(遠敷橋(小浜市遠敷地先他)から下流)	高塚地点上流域の5時間総雨量204mm	高塚地点上流域の5時間総雨量280mm
●南川(小浜市中井地先から下流)	和久里地点上流域の1日間の総雨量373mm	和久里地点上流域の1日間の総雨量547mm
●遠敷川(遠敷橋(小浜市遠敷地先他)から小浜市忠野集落)	下流国土交通省管理区域より上流域の1日間の総雨量220mm	下流国土交通省管理区域より上流域の1日間の総雨量623mm
●江古川、松永川、野木川、中川、田村川、多田川、森川、飯盛川、本所川	各河川流域の1日間の総雨量258mm	各河川流域の1日間の総雨量624mm
●遠敷川(小浜市忠野集落から上流)	遠敷川流域の1日間の総雨量220mm	遠敷川流域の1日間の総雨量623mm
●南川(小浜市中井地先から上流)	南川流域の1日間の総雨量373mm	南川流域の1日間の総雨量547mm

出典
 [北川水系北川、遠敷川 洪水浸水想定区域図] 平成28年6月 [南川水系田村川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月
 [南川水系南川 洪水浸水想定区域図] 令和元年6月 [多田川水系多田川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月
 [北川水系遠敷川 洪水浸水想定区域図] 令和元年6月 [多田川水系森川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月
 [北川水系江古川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月 [飯盛川水系飯盛川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月
 [北川水系遠敷川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月 [本所川水系本所川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月
 [北川水系松永川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月 [北川水系野木川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月
 [南川水系南川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年5月 [北川水系中川 水害リスク図(簡易型)] 令和2年6月

ハザードマップの見方

地区別ハザードマップでお住まいの地域をご確認ください。
 大きな地図は、左記の河川が計画規模降雨(その川を将来的に氾濫させない
 ように整備する際に目標とする降雨で、概ね30年から100年に1度程度の確率で発生する降雨が河川ごとに定められて
 いる)により氾濫した場合の想定される区域と浸水深を表示しています。

小さな地図は、想定し得る最大規模の降雨(概ね1,000年に1度程度の確率で発生する降雨)により氾濫した場合の想
 定される区域と浸水深を表示しています。

想定最大規模の降雨のマップをより大きく見たい場合は、中域マップをあわせてご確認ください。

▼ハザードマップを見る

避難所について

「避難場所」と「避難所」は何が違うの？

市の指定避難所は下表のとおりです。確認しておきましょう。

また、市の指定避難所は、「指定緊急避難場所」としても指定しています。

「指定緊急避難場所」とは災害が長期化した場合に滞在する「指定避難所」とは違い、災害から命を守るために緊急的に避難する施設または場所のことをいいます。災害対策基本法では、指定避難所と指定緊急避難場所は、相互に兼ねて指定することが可能になっており、小浜市においては、35施設を指定避難所(兼指定緊急避難場所)としています。(洪水の場合には国富コミュニティセンターを除く。)(小浜市総合福祉センターは指定緊急避難場所から除く。)



指定避難所

コミュニティセンター、学校などの主に市の公共施設を指定避難所として市が指定した建物です。状況に応じて、開設する指定避難所を決定し、市公式HP、チャンネル、防災行政無線などで広報します。

地区名	施設名称	所在地	電話番号	備考
小 浜	小浜小学校	駅前町13-29	52-3232	※
	小浜コミュニティセンター	小浜日吉91-3	53-2010	※
雲 浜	小浜中学校	雲浜二丁目1-1	52-2612	※
	小浜第二中学校	後瀬町8-10	52-2918	※
	県立若狭高等学校海洋キャンパス(旧小浜水産高校)	堀屋敷2-5-2	52-1950	※
	雲浜コミュニティセンター	城内二丁目5-16	52-9080	※
	健康管理センター	南川町4-31	64-6134	※
	市民体育館	後瀬町9-38	53-0064	※
	文化会館	大手町7-32	53-9700	※
西 津	働く婦人の家	大手町4-1	52-7002	※
	西津小学校	北塩屋18-19	52-0254	※
	西津コミュニティセンター	北塩屋22-2	53-0154	※
内外海	県立大学小浜キャンパス	学園町1-1	52-6300	
	内外海小学校	阿納尻45-9	53-3052	
	内外海コミュニティセンター	阿納尻43-10-1	53-2724	
国 富	旧田島小学校	田島61-4	54-3225	
	旧国富小学校	次吉27-15	52-0014	※
宮 川	国富コミュニティセンター	栗田11-3-2	56-0125	洪水時使用不可
	旧宮川小学校	竹長14-10-3	57-1202	※
松 永	宮川コミュニティセンター	加茂2-17-2	57-1201	※
	旧松永小学校	上野30-1	57-1214	※
遠 敷	松永コミュニティセンター	上野28-7	57-1200	※
	小浜美郷小学校	金屋39-8	56-0773	※
	旧遠敷小学校	遠敷72-17	56-1115	※
	遠敷コミュニティセンター	遠敷71-8	56-1101	※
	遠敷児童センター	遠敷一丁目202	56-0114	※
	小浜市総合福祉センター(●福祉避難所)	遠敷84-3-4	56-4033	※
今 富	今富小学校	和久里15-2-5	56-0278	※
	今富コミュニティセンター	和久里18-18	56-1211	※
口名田	口名田小学校	中井43-15	58-0211	※
	口名田コミュニティセンター	中井41-9	58-0820	※
中名田	中名田小学校	下田14-13-1	59-0311	
	中名田コミュニティセンター	下田52-19	59-0820	
加 斗	加斗小学校	飯盛59-32	52-5141	
	加斗コミュニティセンター	加斗30-35	52-5136	

●福祉避難所 要配慮者と支援者(家族)が生活することを想定して過ごしやすい環境が整った施設。
 ほかの指定避難所と同時に開設されるものではなく、災害対策本部が状況を踏まえて設置します。

※浸水の状況によっては2階以上の高いところへの避難が必要になる場合があります。



自主開設避難所

市の指定避難所以外の市の施設のほか、民間の建物や地区集会所、寺などで近隣住民を臨時的に受け入れる建物です。ただし、中には関係者が駐在していないところもあり状況によっては、受入に支障が出る場合もあります。



一時避難所

市の指定避難所とは別に、災害時、地区や区の住民などから開設の要請があった場合に、開設を行う避難場所です。

目次

小浜地区 p.09

雲浜地区 p.11

西津地区 p.13

内外海地区 p.15

国富地区 p.17

宮川地区 p.19

松永地区 p.21

遠敷地区 p.23

今富地区 p.25

口名田地区 p.27

中名田地区 p.29

加斗地区 p.31

中域マップ
 (想定最大規模の降雨) p.33

早期の立退き避難が
 必要な区域 p.41

わが家の防災メモ

——— あらかじめ記入し、家族で確認しましょう。

緊急連絡先

※自主防災組織など、支援者の連絡先も確認しておくといでしょう。

連絡先	電話番号	メモ
小 浜 市 役 所	53-1111(代)	
若 狭 消 防 署	緊急119 53-5211	
小 浜 警 察 署	緊急110 56-0110(代)	
小 浜 海 上 保 安 署	緊急118 52-0494	
電 気 ()		
水 道 ()		
電 話 ()		
ガ ス ()		
病 院 ()		

家族・親戚・知人など

氏名	電話番号	住所（勤務先、学校など）	メモ（血液型、持病・常備薬、かかりつけ病院など）

災害用伝言ダイヤル

災害発生時に、被災地内の電話番号に限り利用可能なサービスです。局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。

※一般加入電話や公衆電話、携帯電話などから利用できます。



災害用伝言板

携帯電話などからインターネットサービスを使用して、被災地域の人が自らの安否を文字情報で登録できるサービスです。災害発生時には、携帯電話各社などのポータルサイトのトップメニューに「災害用伝言板」へのリンクが表示されます。登録された伝言は各社の携帯電話やパソコンなどで、電話番号をもとに検索し、閲覧することができます。

スマートフォンでは、災害用アプリから伝言板の利用が可能なタイプがあります。

